

学校教育目標	人間性豊かで 創造性に富み たくましく生きる子どもを育成する	経営理念	『 継承と創造 』 【めざす学校像】『独創教育』の理念を継承し、工夫・追求・徹底・協働によって新たな価値を創造する学校 【めざす児童像】何事も自ら進んで「正しく 強く 優しく 永く」やろうとする子ども 【めざす教師像】笑顔で寄り添い、子どもの心に共感する教職員
--------	--------------------------------	------	---

評価計画					自己評価				学校運営協議会による評価		改善方策			
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	達成値		達成度	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	改善方策
							10月	2月						
主体的に学ぶ	1	やる気に満ち、自ら進んで学ぶことで、学ぶ楽しさを味わい、資質・能力を高めていく児童の姿	めざす資質・能力を共有し、児童が自ら学び、他者と協働して、深い学びを創造する授業づくりを推進する。	・個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させる授業の在り方を研究し、日々の授業改善を推進する。 ・「やりがい 自信 仲間のサポート」を実感できる働き方改革を推進し、教育の質を高める。	・課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。	児童評価 90%	—	91%	101%	4	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るために、多様な単元構成の工夫を行い、授業改善に努めている。	A	達成値等は、あまり気にすることなく、自信をもって教育に邁進してください。	今年度の実践を類型化し、職員間で共通理解を図ることで、より一層の充実を目指す。
					・標準学力調査の達成度(活用)	全国平均を10%上回る	—	12項目/16項目	75%	2	標準学力調査実施に向け、活用力をつけるため、高台日程を利用し、活用問題に取り組んだ。日々の授業の中で、発問を工夫し、学びを深めることを目指している。	B	個別最適な学びや協働的な学びと同様に深い学びも重視してほしい。	活用問題に取り組んだり、発問を工夫したりすることで学びを深めさせる。
					・正答率40%未満児童の解消	40%未満の割合を3%未満にする	—	1.8%	106%	4	単元内自由進度学習等、個々に合わせた学習を展開したり、個別指導を充実させたりすることで、正答率40%未満の児童の解消を目指している。	A	個に応じた学びや個別指導の充実等により、すばらしい成果が出ている。	40%未満の児童数減少を目指し、個別指導や個に応じた指導を充実させる。
					・読書活動を積極的に評価したり、お勧めの本を紹介し合ったりする活動を行う。	児童評価 95%	91%	91%	96%	2	朝のスピーチでの本の紹介や、タブレットなどを活用した家庭を巻き込む体験型読書活動を行い読書の推進を図っている。	A	読書の取組はよくしている。家庭も一緒に活字離れを何とかしたい。	読書を推進する取組を様々な方法で継続する。家庭への啓発も工夫して行う。
				・委員会活動を活性化させ、目標設定やイベントを工夫して実行する	・友達に薦めたい本がある	児童評価 95%	91%	91%	96%	2	朝のスピーチでの本の紹介や、タブレットなどを活用した家庭を巻き込む体験型読書活動を行い読書の推進を図っている。	A	読書の取組はよくしている。家庭も一緒に活字離れを何とかしたい。	読書を推進する取組を様々な方法で継続する。家庭への啓発も工夫して行う。
					・本を読むのが好き	児童評価 95%	78%	81%	95%	2	図書委員会による本の紹介やビブリオバトル等の活動により、読書を行う意欲を喚起している。	A	タブレットの導入も弊害となっているのではないかと取組を進めていきたいと思います。	紙面とデジタルの活用の仕方工夫する。委員会活動を中心に取組を進める。
ふるさとを愛する	2	西条小・西条町に誇りと愛着をもつ児童の姿	生活科・総合的な学習の時間の系統的な学びを推進する	学校や地域の人・伝統・文化の素晴らしさを実感させる体験活動等の工夫・充実を図る。	・学校大好き	肯定的回答率 95%	91%	94%	97%	2	生活科・総合的な学習の時間の系統的な学びを推進し、表現活動の場である創立記念学習発表会で充実感、達成感を味わわせ、学校大好き、西条への愛着を実感させる工夫、充実を図っている。	A	児童へ学校大好き、西条への愛着を実感させる工夫、充実を図ることはできているが、保護者へも働きかけが必要である。	5学年で行っていた酒蔵ガイドの活動等、保護者参加型の活動を企画する。
					・西条への愛着	肯定的回答率 95%	97%	96%	101%	4	児童だけでなく、保護者も学校や地域への愛着を高められるような取組をPTA活動も含め、考えていく必要がある。	A	課題設定の際、学習内容を発信する対象に保護者を含めることで、児童の学習活動を起点に地域の魅力について知る機会の充実を図る。	
教育課程を社会に関く	3	学校の教育目標や経営理念、目指す子供像を教職員・児童・家庭・地域で共有し、協働して教育を推進する姿	校訓に込められた価値を学校・家庭・地域で共有し、目指す子供の姿の具現化を図る。	・児童に仲間と共に学び、生活することのすばらしさを実感させる。 ・児童が自らの成長を実感できる振り返りを定期的に行う。 ・学校教育活動の様子をHP等で定期的に発信する。	・「校訓の価値」を共有	児童評価 95%	98%	98%	103%	4	目指す姿を児童が常に意識できるように全教育活動で自己の学びの振り返りを行った。今後も、児童に仲間と共に学び、生活することのすばらしさを実感させる取組を継続していく。	A	校訓に込められた価値を児童はよく理解しているようです。学校・家庭・地域で共有し、取組をさらに進めましょう。	委員会ごとにはばらばらに行っている各キャンペーンを、校訓に紐づけることで、全校一致で同じ目標に向けて活動する。
					・自らの成長を実感できている児童	児童評価 90%	96%	98%	109%	4	児童の取組を価値付けたり、自らの活動を作文やグラフ等にまとめて振り返らせたりすることで自らの成長を実感させることができました。	A	育った子どもの姿を地域・家庭に発信する工夫をさらに考えてほしい。	様々な活動を通して児童が作成した成果物を、異学年でも目に触れるように掲示等を行い、意識づけを行う。

4…目標を上回って達成 3…目標どおりに達成 A…とても適切である B…おおむね適切である
2…目標をやや下回って達成 1…目標をかなり下回って達成 C…あまり適切でない D…全く適切でない (N…判定できない)